



【導入事例紹介】ステレオカメラ RoboVision2 豊田工業大学 スマートビークル研究センター 夜間ステレオビジョンシステム開発へ活用

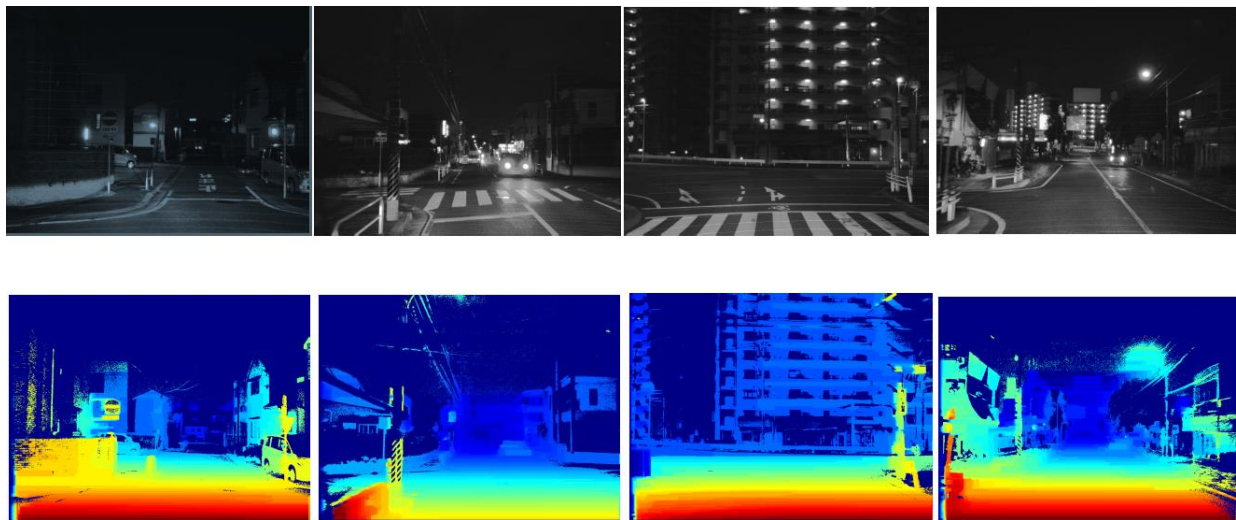
ー7月18日 第10回 ZMP フォーラムにて最新の研究取り組みを発表ー

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)が販売するステレオカメラ RoboVision2 が、豊田工業大学 スマートビークル研究センターにおいて、「夜間ステレオビジョンシステムの検討」のために導入され、カメラ画像を用いた認識技術開発に活用されております。この度、弊社ウェブサイトにて事例紹介を公開いたしましたので、お知らせいたします。

なお、7月18日より開催の第10回 ZMP フォーラムにおいて、豊田工業大学 名誉教授 三田 誠一先生より、最新の研究成果についてご講演いただきます。

【RoboVision 活用事例紹介】豊田工業大学 スマートビークル研究センター

http://www.zmp.co.jp/case/rv2_180620



夜間時における視差画像の計測結果

豊田工業大学 スマートビークル研究センターでは、高齢者や運転初心者に安全で、さらに環境への負荷が少ない運転支援システムの研究開発を進めています。具体的には、コンピュータがテレビカメラ、レーザスキャナー、GPS (global positioning system) などのセンサから得られる情報をもとに、歩行者や車両、道路、白線などのさまざまな対象を検出し、複雑な走行環境を認識できる技術を開発しています。本研究開発において、RoboVision2 は、カメラによる夜間の画像認識技術を開発するためのツールとして活用されております。

本センターでは、近年「走行環境変化にロバストなステレオ技術の検討」として、降雪、雨天、夜間、霧などの



RoboVision2 車両搭載



走行環境の変化に対して耐性のある認識システムの構築方法について研究を行っており、その最新状況を7月18日より開催いたします「第10回 ZMP フォーラム」において豊田工業大学 名誉教授 三田 誠一先生よりご講演いただきます。

同センターで活用いただいている RoboVision2 は、自動車/部品メーカ、また、大学等研究機関における ADAS・自動運転技術開発などにおいて幅広くご利用いただいています。「第10回 ZMP フォーラム」では、ハードウェア改良により距離精度が大幅に向上した RoboVision2s、ステレオカメラによる物体検出や車間距離計測用ソフトウェア、そして、ソニー製車載用高感度 CMOS センサ IMX390 を搭載し最大 150m・水平 100° の検出範囲の最新ステレオカメラ RoboVision 3 を出展いたします。

ZMP は今後も、ADAS・自動運転開発支援ツールやセンサ、サービスを通じて、自動運転技術の向上へ貢献して参ります。

【第10回 ZMP フォーラム 開催概要】

ZMP フォーラム 2018 『自動運転の商業化で人とモノの移動を変える』

ZMP は、世の中の技術開発の加速に貢献したいとの思いで、2009 年より ZMP フォーラムを毎年開催しております。第10回となる今回は、基調講演として理化学研究所革新知能統合研究センター長杉山将先生にご講演を頂き、その他、各分野の第一人者によるご講演・事例紹介、新製品の発表、ZMP スタッフによる技術紹介などを行います。

開催日時:

2018年7月18日(水) 10:00~18:00(18:30~ 懇親会)

2018年7月19日(木) 10:00~17:00(17:00~ 商品デモ&体験会)

2018年7月20日(金) 10:00~18:00

会場:ベルサール飯田橋 (東京都千代田区 飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル)

参加費:無料(懇親会は有料)

※三田先生の講演は、第1日目 7月18日(水) 16:30~となります。

【プログラム詳細】

プログラム詳細:http://www.zmp.co.jp/products/10th_forum

各日のプログラムについて公開しております。(※6月13日時点)

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部

TEL: 03-5802-6901/FAX: 03-5802-6908 Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の自動タクシー®の実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Delivery の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。